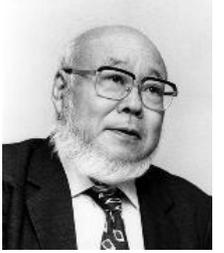
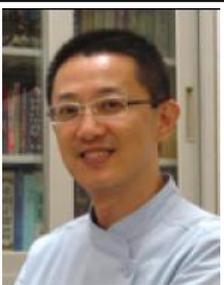


	氏名：于雷 所属：于雷総合氣功院	内容： 一、医食同源医食同源から始め、昔、仙人が住んでいた山で断食食気体験談 食月光補腎法発表入定、採星光精華法発表 山中練功、採深潭阳気法、森林気自発動法、猿と一緒に飲酒採果物の気法、49日断食歴険記 凌空虚渡、身軽如燕	二、氣功期限と歴史 1、氣功と鍼灸 2、氣功と中医学、四大名医 3、氣功と現代中医学研究、中医学院 西苑病院など 4、日本での氣功と氣功愛好者 5、氣功に対しての夢
	題目：食氣練功から氣功事業の教育まで 10:00 2 floor 中会議室 201B 題目：食氣練功について 11:10 4 Floor 小会議室 404		

	氏名：町 好雄 所属：東京電機大学	内容： 多くの氣功の種類があるが、時間的な関係でたんと功と六字訣における例えば腹部呼吸、血流の変化、エコーによる臓器の血流などの生理的な変化を計測することで、氣功にはそれぞれ違いがあり、それが健康維持に役立つことがわかった。例えば、自律神経系の働きは調整できないといわれているが、氣功ではそれが可能であることを証明している。
	題目：内氣功の生理測定 10:30 2 floor 中会議室 201B	

	氏名：渥美 和彦 所属：有限責任中間法人 日本統合医療学会 IMJ	内容： 「食」と云う言葉の意味をもう一度、この「つくば」の地で、考え直して見ませんか。「空気」、「土」、「水」それぞれの自然の恵みを、保全し、維持し、利用する生産のサイクルと、流通、消費への経済的なサイクルを、重ね併せて検証し、実施する試みが、今こそ、待たれています。私たちは、こうした「人に優しく、自然環境の理に適った試み」を「現代医学」と「伝統医療」の融合による理想的な医療である「統合医療」からのアプローチを基に検証し、広く国民の「健康と食」、「環境」の連携の新たな考察に資したいと思います。
	題目：統合医療 11:00 2 floor 中会議室 201B	

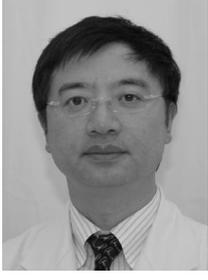
	氏名：帯津 良一 所属：日本ホリスティック医学協会	内容： 最近やっと、西洋医学一辺倒では病気が治せないことに、一般の大勢の人々が気づき始めました。もっと全人的な医療（ホリスティック）の必要性を、多くのお医者さんも気づくようになって来ました。このような社会的な要求の高まりの中で、このたびの日本統合医療学会が生まれ、そのなかに氣功分科会ができたものと思います。 やはりこれからは全体的な治療及び予防が必要になってきています。そして、その内の重要な手段の一つとして氣功が含まれていると私は考えております。 氣功関係者の皆様の今後の大いなる活躍を期待いたしております。
	題目：氣功分科会について（挨拶文） 11:08 2 floor 中会議室 201B	

	氏名：傅 嵩青 所属：中和中医研究所	内容： 1. 甲骨文と金文と『話文解字』にて『气』という文字の意味。 2. 『老子道德経』55章含徳之厚篇には「心使氣曰強」、『管子』内業篇には「心気、氣意」の語があって、氣が心とある関係を持つものであることを示している。この関係を「人中呼吸法と踵息法」の発表を通じて、現代社会において「心、氣、身」のつながりの説明。 3. 『老子道德経』42章の「道生一 一生二 二生三 三生萬物」、道は一を生じ、一は二を生じ、二は三を生じ、三は万物を生ず言葉から、氣と天人地、氣と四時（四季）、氣と中医学の診断（四診法）と治療（砭、鍼、灸、薬、按蹻、導引氣功）と養生法の理解および氣と統合医療のつながり。
	題目：氣と統合医療 11:10 2 floor 中会議室 201B	

	氏名：朝日 舞 所属：日本ライブセラピー協会	内容 クライアントにとってより良い効果をもたらすことが統合医療に於いては大切である。慢性疾患等には生命力を高める気功の役割は大きい。日本の文化的要素を取り入れた芸術療法のライブセラピーは気功の内気法と外気法が一体化した内外結合功であり、その効果は瞬時に大勢の背骨や骨盤の調整ができる。脳神経系の活性を行い人々の健康への軸づくりを担うが、ライブセラピーを通して病気の予防とケアを行い人類の幸福へ貢献する。
	題目：ライブセラピーのすすめ 表演 11:40 2 floor 中会議室 201B	

	氏名：岩田 悦子 所属：NPO 気功文化センター	内容： 健身気功六字訣は中国国家体育总局健身気功管理センター推薦した気功法であり、現在中国全土で普及しております。その動作、発声を結びつけ、人体の五臓六腑を調整します。その関係内容を日本人に理解しやすいように動作の流れと発声方法を伝えます。
	題目：健身気功・六字訣 表演 11:50 2 floor 中会議室 201B 題目：健身気功・六字訣 講習会 13:00 4 Floor 小会議室 404	

	氏名：吉田 洋和 所属：東京電機大学	内容： 呼吸は生命を維持するために、欠かせない最も重要な活動の一つであり、またそれと同時に自分の意思で制御することのできる数少ない生理活動でもあります。本研究では、この性質を利用して呼吸のパタンによる生理変化の違いから、呼吸が人体に与える影響を予測することを目的としています。
	題目：呼吸が人体に与える影響 13:00 2 floor 中会議室 201B	

	氏名：孫 維良 所属：(株)東京中医学研究所	内容： 推拿療法について 推拿は古代より発展してきた中国固有の手技療法であり、中国伝統医学の中では漢方薬や鍼灸と並ぶ三大治療法の一つとして位置づけられている。 現代中国では全国の病院に推拿科が設けられ、推拿医師による推拿治療が行われ、また推拿に関する新しい研究発見も盛んであり推拿療法の領域も広がっている。 現代では人々の薬物に対するこだわりなど多い中、推拿は薬を使わず手の指だけで行う自然療法として、可能性の高い代替医療の手技療法の一つと考えられる。
	題目：中医学推拿療法の現状と発展 13:10 2 floor 中会議室 201B	

	氏名：山田 千鶴子 所属：サアン医学気功研究院	内容： 38億年前、酵素は単独の形では存在しなかったが、紫外線の届かない海のそこで生命は宇宙大自然の気を受けて誕生し、藍藻の誕生と共に酵素が発生し、この変化の中で真核細胞はシトコンドリアと合体・多細胞生物へと発生した。大自然の気を受けながら酵素から身を守り、酵素を利用してエネルギーを獲得した。その生命の歴史から、気功とクレブスサイクルの合体養生宇宙気功法で、身体をアルカリにし、癌・膠原病・糖尿病他効果大。
	題目：サアン宇宙気功と統合医療 13:40 2 floor 中会議室 201B 題目：サアン医学気功 14:30 4 Floor 小会議室 404	

	氏名：前田 哲男 所属：日本医療気功研究会	内容： 陰陽五行論を用いた補寫の原理による気功治療邪気を除き正気を補充する治療法として、五行論による随証診断と治療システムを開発。本治法と局所法の鑑別診断、気・血・水(津液)の診断が簡明施術には経穴(ツボ)を用いる施術に有効な活性化した経穴(ツボ)が五行論に従って出現する糸球体腎炎の治療例を示して、全システムについて発表。
	題目：気の診断と治療 (医療気功) 14:00 2 floor 中会議室 201B	

	氏名：劉 超 所属：北京中医薬大学・東京電機大学	内容： 六字訣気功法は中国伝統的なセルフケア健康法と言われている。ここで実行された六字訣気功法は気功家医者馬礼堂先生の長年の経験と古典から編著された方法である。六つの発声があることはこの気功法の特徴である。ここでは、生理測定から、六字訣錬功者の評価について述べ、気功練習レベルの評価が身体と心の両方から考える構想の実践を説明している。最適な気功訓練教育を行うことが目的である。実技の紹介が行います。
	題目：養生気功六字訣の錬功に関する研究 14:15 2 floor 中会議室 201B 題目：養生気功「六字訣」の基礎功法の紹介 15:00 4 Floor 小会議室 404	

	氏名：曾 紅 所属：ミトコンドリア細胞呼吸学園	内容： 最先端の分子細胞生物学では細胞呼吸小器官ミトコンドリア研究が注目を浴びている。ここ8年間の臨床経験から腹式呼吸法により、ダイエットをはじめ、ガンなど多くの難病の改善または治癒効果が得られた。これは腹式呼吸法によりミトコンドリア細胞呼吸を活性化させたのではないかとこの仮説を立て、拙著『生命力の回復・細胞呼吸法』で論じ、また、「ミトコンドリア細胞呼吸ダイエット法」を提起した。この呼吸法の確立：順式「吐息—吸息—停息—吸息」、考察：順式の吸息強調型呼吸法によりミトコンドリアで体脂肪をATPに合成する機能が高まり、アドレナリンとその受容体との結合が活性化され、cAMP濃度が上昇、様々なホルモンの合成も増幅されたのではないかと推測。
	題目：ミトコンドリア細胞呼吸ダイエット法 14:45 2 floor 中会議室 201B	

	氏名：沈 立君 所属：中国少林気功センター	内容： 新五禽戯は、中国古代において有名な華佗医師の五禽戯の理論を指導思想として、気功、武術、舞踏の特徴を融合し、五種類の動物の活動の特徴と規律正しさを創編した、養生、防病、長寿の気功です。この功法は、動作は優美ですが、簡単に勉強しやすく、潜在能力の開発ができます。よく練習すれば、体質を増強し、老衰を予防し、若さを保ち、病気を治し、天人合一になるでしょう。新五禽戯は、蛇、亀、鶴、大鵬(鷹)、虎の動きを模倣し、様式化した創編の気功です。
	題目：新五禽戯(表演) 15:05 2 floor 中会議室 201B 題目：気功療法の実用性 14:00 4 Floor 小会議室 404	

	氏名：有田 鈴代 所属：IMJ 会員 功德韻	内容： 「気」の付く語句は日本には数えきれないほどあるそれほど、「気」は日本人には身近で馴染み深いものであり、また「気」を感じる事に敏感で上手な国民であると思われる。一方で、「見えないことは信じ難い」という風潮によって治療としての気が敬遠されてきたことも事実である。ここでは、交感神経が強く働いた自身の身体に感じたことや施術方法とデータの結果を照らし合わせ、患者にどう影響し、患部がどう快方に向かっていったのかを、考察、分析している。
	題目：外気功の生理的測定と考察 15:25 2 floor 中会議室 201B	

	氏名：廖赤陽・大村行広 所属：無為気功養生会	内容： 中国における代表的な医療気功の一つである「一指禅功」の源流（岷禅法師—劉永言医師）、実技とその原理を中心に。当日の発表時間と会場条件により、口頭発表に兼ねて実技を行うことも可能です。
	題目：「一指禅功」点穴療法の実技とその原理 15:35 2 floor 中会議室 201B 題目：「一指禅功」点穴療法の実技とその原理 13:40 4 Floor 小会議室 404	

	氏名：王 一帆 所属：気脈鑑定会	内容： 回春功は、“健康維持を目的とした舞踊”であり、①と②の両方を最大限目的としたちょっと欲張った『形象功』です。 回春功の中で特に重点が置かれている目的は【体年齢の維持】【自己免疫力の強化】【美しい形象舞踏である事】です。体年齢の維持等を目的として、生物のさまざまな動きの中から美しく流れる動きを前提として考案されたものです。 学びやすいものから、非常に難しい物、簡単そうに見えてやってみると「あらら」と言うものまで、組み合わせが豊富で奥が深く大変面白いです。ぜひ一人でも多くの方に楽しんでもらいたいと思っておりますので、私共々宜しく申し上げます。
	題目：気脈舞踊 表演 15:55 2 floor 中会議室 201B	

宇

	氏名：遠藤 光博 所属：吉光堂	内容： 全ての画像（パソコンの写真、テレビの画像等）にて東洋医学的診断方法を用い、気功鍼で遠隔治療を行うものであり、術前術後の効果をはっきりと判断でき最小のエネルギーで一定のレベルの治療が可能となります。結論：よって過疎地の方々への治療、時には治療困難なスペースシャトル内のクルーへの治療なども画像があれば可能で、色々な幅広い用途が期待でき現代医療との協力で社会貢献できるのではと考えております。
	題目：画像による東洋医学的診断と気功鍼治療 16:05 2 floor 中会議室 201B	

	氏名：宮城 三郎 所属：静岡県歯科医師会	内容： A 目的 口と東洋医学の気・経路との関係を理論付けし、気功法に応用する。 B 本論 東洋医学の経路が口の周りから→足へ。毛細管現象で足→口の周り、又、口の周りから→足と三つの経路がある。そして経路を木火土金水の五行説の通りに並べ変えると脳下垂体の部位から膀胱経が始まり大腸経で脳下垂体の部位に終る。又、水・木・火・土・金の経路を気功法でのべる事により、東洋医学が分る。
	題目：口と気功法 16:25 2 floor 中会議室 201B	

	氏名：金 龍鐘 所属：プランクエネルギー精神科学研究所	内容： 禅の悟りと気功の効能には共通したθ波の脳波をもっている。このθ波から出てくる力を科学的に解明できれば、人間社会を心身共により健康な文化生活が実現できるだろう。この低周波から出てくる瞬間的な力のメカニズムを、量子力学の不確定性原理の時間とエネルギーから、町の実験データで論ずる。この場の力は新しい宇宙の第5の力である。町は21世紀の夜明けに、古今東西の碩学が求めてきた精神の力を科学的に発見したのである。
	題目：瓶抜け実験値θ波における6μVと不確定性原理hの時間とエネルギー 16:35 2 floor 中会議室 201B	



氏名：外山 美恵子  
所属：NPO 法人  
心とからだの研究会

題目：気功シンプルレッスン 表演  
16:45 2 floor 中会議室 201B  
題目：気功シンプルレッスン「丹田笑呼吸法・内笑瞑想」  
15:30 4 Floor 小会議室 404

内容：  
肉体と精神の両面から統合的にアプローチできる気功は、医療や福祉、介護や教育の現場でも注目されています。気功の真髄を「毎日の気功シンプルレッスン」（外山美恵子著・学研 DVD-BOOK）よりご紹介します。誰もが簡単にできるシンプルなものですが、先天の気（遺伝子やミトコンドリア）に働きかけますので、心もからだも内側から輝き出し、理屈抜きに元気になります。「丹田笑呼吸法・内笑瞑想」の不思議な力をご体験下さい。



氏名：竹内 正彦  
所属：東京電機大学人体科学研究室

題目：タントウ功による脳波の変化  
10:20 4 Floor 小会議室 404

内容：  
気功を行うと人体に様々な影響がおきると言われている。これまでの研究により、生理学的にも多くの変化がおこることが知られている。今回は、気功教室に通う生徒の、タントウ功前の安静閉眼、タントウ功中、タントウ功後の安静閉眼時の脳波の変化を測定した。気功教室の中級クラス卒業時と上級クラス卒業時の二回測定を行い、鍛錬の影響が脳波にどう影響していくのか解析を行った。



氏名：池田 種明  
所属：丹田研究会（ライフシステム）

題目：貴方は丹田を確認されましたか？  
10:40 4 Floor 小会議室 404

内容：  
「丹田は昔から中心・重心を顕すと言われていますが、中心・重心が取れていない方は丹田は存在するのでしょうか？丹田は臍下に存在する「中心の氣」と捉えます。丹田の存在しない状態を「氣の上がり」と言い、氣の上がりの方は残念ですが非常に多いです、私は「丹田の存在」「氣の上がり」を観る能力があります。丹田の存在は「心と身体と魂のバランス」を顕し、潜在意識への入り口であり健康と幸せへの入り口であると捉えます。」



氏名：郭 良  
所属：郭良気功研究所

題目：慧丹気功療法のビデオ紹介  
12:50 4 Floor 小会議室 404

内容：  
「特別療法」は、幾つかの異なる秘伝法を合わせて施術し、強力な気光を個人の体内に照射し、体外布気します。癌や、重症に対する、自然治癒力を高め、全身のバランスを整えます。美容、老化防止、潜在能力の開発などにも高い効果が有ります。